

NEWS RELEASE

<http://www.takara-bio.co.jp>

2019 年 2 月 19 日

T B 18-0710

前処理不要のリアルタイム PCR 検査試薬を新発売

タカラバイオ株式会社は、検便、血液、細胞等の検体から RNA 抽出・精製の前処理を行わず、検体中の遺伝子を直接検出できる1ステップリアルタイム PCR プレミックス試薬「PrimeDirect™ Probe RT-qPCR Mix」(以下、本製品)^(注1)を本年 4 月 25 日より発売します。併せて、検査機関等を対象とする本製品を利用した遺伝子検査キットのカスタム製造の受注を開始します。

リアルタイム PCR を用いた遺伝子検査は、ウイルスや病原菌検出、遺伝子組換え食品検査、遺伝病・がん遺伝子検査などの幅広い分野で利用されています。リアルタイム PCR 検査は、一般に前処理として検体から専用キットによる核酸 (DNA・RNA) の抽出と精製などの煩雑な作業を行なった後に行われますが、本製品は、前処理が不要で、直接、検体を検査試薬に添加して検査を行えます。また、本製品は反応阻害物質による影響を受けにくく、遺伝子検査の課題である「キャリアオーバーコンタミネーション」^(注2)の防止剤 UNG^(注3)を添加した製品も揃えています。本製品の利用により、リアルタイム PCR 検査をより短時間で簡便に、低コストで行えます。

また、当社は、これまでに培ったノウハウと経験をもとに、本製品を用いた遺伝子検査キットをカスタムで製造し、最適なリアルタイム PCR 検査をご提供します。

遺伝子検査キットの例

<用途>

- 臨床検査会社の新規・ルーチン検査
- 食品製造会社の品質検査・工程管理
- 診断薬企業のコンパニオン検査 ほか

<検出対象>

- ウイルス、細菌
- 有害細菌、機能性細菌
- 遺伝子、SNP

当社は、遺伝子解析分野の基礎研究から産業応用まで、様々な用途に応じた新製品とサービスのラインアップを拡充し、バイオ産業支援事業のさらなる拡大を目指しています。

【製品概要】

製品コード	製品名	容量	希望小売価格 (税別)
RR650A	PrimeDirect™ Probe RT-qPCR Mix	200 回	48,000 円
RR651A	PrimeDirect™ Probe RT-qPCR Mix, with UNG	200 回	50,000 円

【製品に関するお問合せ先】

製品の詳細やご購入については、当社営業部営業企画担当 (TEL:077-565-6972) までお問い合わせください。

<参考資料>

【語句説明】

(注 1) 1 ステップリアルタイム PCR プレミックス試薬

リアルタイム PCR 検査は PCR 法で増幅した DNA 量をリアルタイムでモニタリングし解析する検査です。多くのウイルスの遺伝子検査では抽出 RNA の逆転写反応と PCR による増幅反応の 2 工程 (2 ステップ) で検査を行いますが、1 ステップリアルタイム PCR では、試薬や反応条件を工夫することで、逆転写反応から PCR を連続して行ない 1 ステップ (1 工程) で検査を行います。これにより作業工程を減らし所要時間を短縮することが可能です。

また本試薬には、各反応に必要な酵素、バッファーや基質などが予め混合されています。

(注 2) キャリーオーバーコンタミネーション

リアルタイム PCR 検査は非常に高感度な検出方法であるため、別の検査の反応物質 (DNA などの PCR 産物) のキャリーオーバーによる偽陽性が生じる場合があります。特に、食品・環境検査など同じリアルタイム PCR 検査を繰り返す場合、その PCR 産物 (DNA) が器具や環境に残存し拡散する危険性があります。

(注 3) UNG

ウラシルを含む DNA を分解する酵素。PCR の基質として dTTP の代わりに dUTP を使用し、UNG (Uracil - N - glycosylase) を用いてウラシルを含む DNA を分解することで、PCR 法におけるキャリーオーバーコンタミネーションによる偽陽性を防止することができます。

当資料取り扱い上の注意点

資料中の当社の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣の判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づきなされたものであります。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら予測とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢、特に消費動向、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、競合会社の価格・製品戦略による圧力、当社の既存製品および新製品の販売力の低下、生産中断、当社の知的所有権に対する侵害、急速な技術革新、重大な訴訟における不利な判決等がありますが、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

この件に関するお問い合わせ先

タカラバイオ株式会社

広報・IR 部

Tel 077-565-6970